

令和元年度 第2回市政モニター・アンケート調査結果

◆ 調査テーマ

「ホームレスの自立支援に関する市民意識調査」について （所管課：生活援護室）

◆ 調査期間

令和元年11月29日（金） ～ 12月13日（金）

◆ 調査方法

対象・人数	市政モニター 100人
調査方法	書面・インターネットを通じてアンケートに回答
回収率	調査対象100人に対して 有効回収数 89人 有効回収率 89.0%
質問数	13問

◆ その他

各設問の回答割合（％）の合計は、端数処理の関係上、100％にならない場合があります。複数回答の設問については、合計が100％を超える場合があります。各選択肢の記述式の意見については、最後にまとめて掲載し、原則記載のまま掲載しておりますが、一部主旨を変えない程度に、要約・加筆・言い換えしてある場合があります。

◆調査結果のまとめ

問１～５では、現行の『姫路市ホームレス自立支援実施計画』の評価や現状について市民のみなさまのご意見をお伺いする設問となっております。

姫路市では平成１８年の実施計画策定後、５年ごとに見直しを行いながらホームレスの自立支援に取り組んでまいりましたが、実施計画の内容が周知されていないことが分かりました。しかし、今回、概要版ではありますが、アンケートに添付することで内容を見ていただいたところ、計画の内容についても、今までの姫路市の取り組みについても一定の評価を得られているのではないかと考えます。実際に、平成１８年の実施計画の策定当初と比べると姫路市内でもホームレスが大幅に減少しているところではありますが、市民のみなさまにおいても実生活でホームレスの減少を実感されており、今までの取り組みを継続して取り組んでいく必要性を感じております。

問６～１２では、実施計画の期間満了に伴う新たな計画の策定において、何に重点を置いて取り組んで行くべきか、ご意見をお伺いする設問となっております。

人権問題に関しては、就労の機会が少ないこと、住宅への入居が困難といった項目で多くの市民の方に問題があるのご指摘をいただきました。人権問題については、従来から人権教育、人権啓発に取り組んでいるところではありますが、一層充実したものとしていく必要性を感じております。

ホームレスへの支援として重要なことについては、就労の支援、ホームレスが入所できる施設を紹介することが必要であるとの結果になっております。

地域における問題解決については、地域での相談活動の充実と民間支援団体や市民ボランティアが活動しやすい環境づくりが必要であるとのご意見を多くいただきました。これは、地域住民自らが問題解決に当たる必要性を感じていただいているということだと考えております。今後におきましても、地域における問題解決のため積極的に地域社会との連

携を図ってまいります。

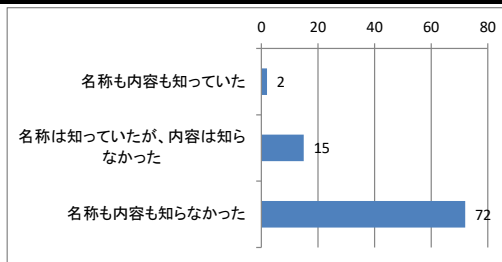
また、今後の姫路市の取り組みとして最も重要なものについての意見で一番多かったものは、ホームレスになることを防止するための施策の推進でした。姫路市では平成27年4月より、生活援護室内に生活困窮者自立支援制度を担当する「くらしと仕事の相談窓口」を設置し、平成31年4月からは地域福祉の拠点としてオープンした姫路市総合福祉会館において相談支援体制を整えております。生活困窮者自立支援制度の自立相談支援事業による就労支援や一時生活支援事業を活用しながら、ホームレスを含む生活困窮者の支援に取り組んでいきたいと考えております。

問13として自由意見を求めたところ、多くのモニターの方から様々なご意見をいただきました。これらの貴重なご意見については、新たな計画の策定にあたって参考にさせていただきます。

最後に、今回の調査結果については、新たな計画に反映させるとともに、今後の姫路市のホームレスの支援の参考にさせていただきます。姫路市として、今後も、ホームレスが自らの意思で安定した生活を営むことができ、新たなホームレスを生まないような福祉社会の実現に努めてまいります。

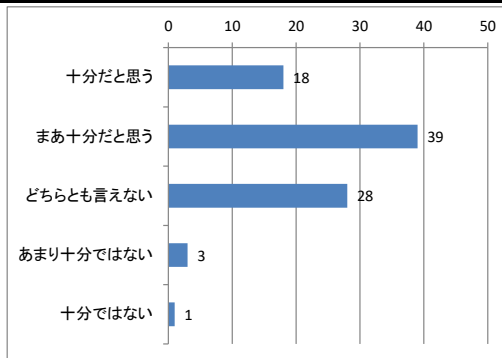
問1 姫路市ホームレス自立支援実施計画を知っていましたか？

	選択肢	(件数)	(%)
1	名称も内容も知っていた	2	2.2%
2	名称は知っていたが、内容は知らなかった	15	16.9%
3	名称も内容も知らなかった	72	80.9%
	計	89	100%



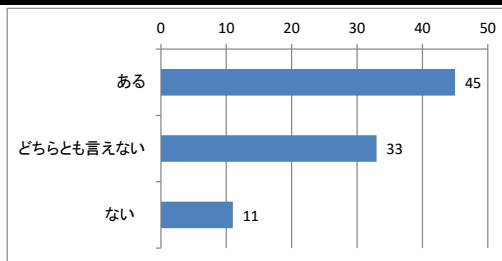
問2 姫路市ホームレス自立支援実施計画の内容について、十分だと思いますか？

	選択肢	(件数)	(%)
1	十分だと思う	18	20.2%
2	まあ十分だと思う	39	43.8%
3	どちらとも言えない	28	31.5%
4	あまり十分ではない	3	3.4%
5	十分ではない	1	1.1%
	計	89	100%



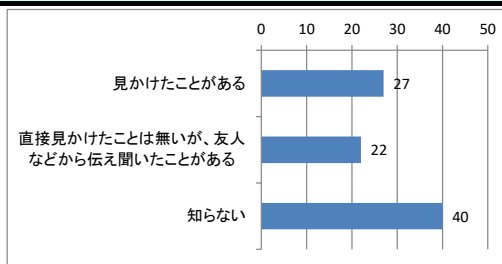
問3 姫路市ホームレス自立支援実施計画の策定後、姫路市におけるホームレス数は減少していますが、ホームレスが減った実感はありますか？

	選択肢	(件数)	(%)
1	ある	45	50.6%
2	どちらとも言えない	33	37.1%
3	ない	11	12.4%
	計	89	100%



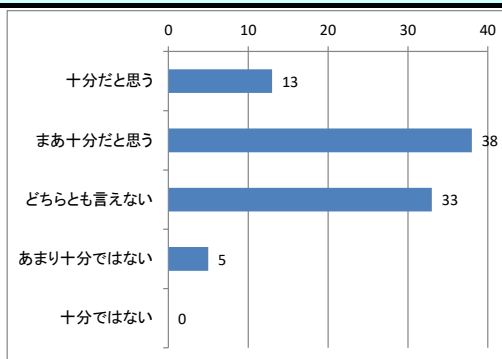
問4 ホームレスではないが、車上での生活や終夜営業店舗で寝泊まりしている人などで、定まった居住地を持たない人をご存知ですか？

	選択肢	(件数)	(%)
1	見かけたことがある	27	30.3%
2	直接見かけたことは無いが、友人などから伝え聞いたことがある	22	24.7%
3	知らない	40	44.9%
	計	89	100%



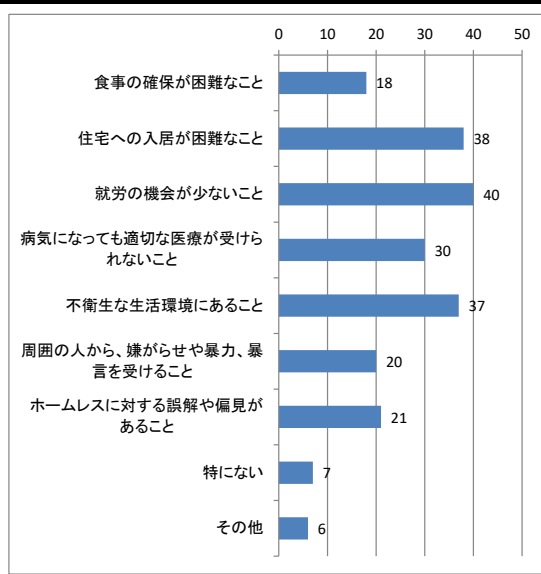
問5 ホームレスの自立支援に関する姫路市の取り組みについて、十分だと思いますか？

	選択肢	(件数)	(%)
1	十分だと思う	13	14.6%
2	まあ十分だと思う	38	42.7%
3	どちらとも言えない	33	37.1%
4	あまり十分ではない	5	5.6%
5	十分ではない	0	0.0%
	計	89	100%



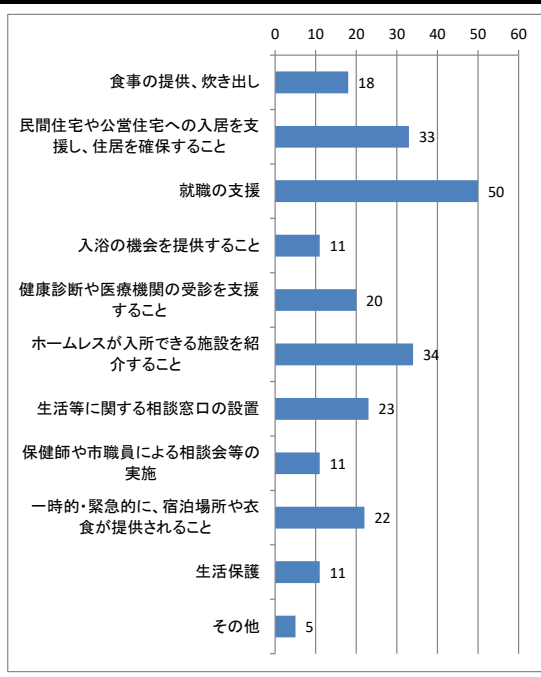
問6 ホームレスの人権が守られていないと思うのは、どのようなことですか？（複数回答）

	選択肢	(件数)	(%)
1	食事の確保が困難なこと	18	8.3%
2	住宅への入居が困難なこと	38	17.5%
3	就労の機会が少ないこと	40	18.4%
4	病気になっても適切な医療が受けられないこと	30	13.8%
5	不衛生な生活環境にあること	37	17.1%
6	周囲の人から、嫌がらせや暴力、暴言を受けること	20	9.2%
7	ホームレスに対する誤解や偏見があること	21	9.7%
8	特になし	7	3.2%
9	その他	6	2.8%
	計	217	100%



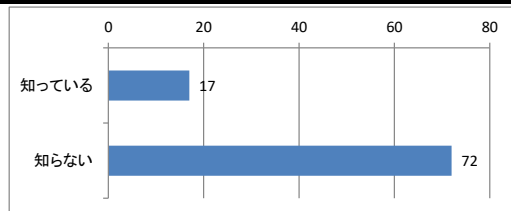
問7 現在ホームレスとして生活している人へ、どのような支援が重要だと思いますか？（複数回答）

	選択肢	(件数)	(%)
1	食事の提供、炊き出し	18	7.6%
2	民間住宅や公営住宅への入居を支援し、住居を確保すること	33	13.9%
3	就職の支援	50	21.0%
4	入浴の機会を提供すること	11	4.6%
5	健康診断や医療機関の受診を支援すること	20	8.4%
6	ホームレスが入所できる施設を紹介すること	34	14.3%
7	生活等に関する相談窓口の設置	23	9.7%
8	保健師や市職員による相談会等の実施	11	4.6%
9	一時的・緊急的に、宿泊場所や衣食が提供されること	22	9.2%
10	生活保護	11	4.6%
11	その他	5	2.1%
	計	238	100%



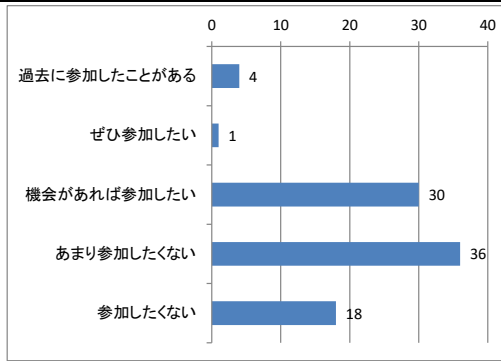
問8 ホームレスを支援する民間支援団体が、市内で定期的に炊き出しやおにぎり配り、生活相談等の活動を行っています、ご存知ですか？

	選択肢	(件数)	(%)
1	知っている	17	19.1%
2	知らない	72	80.9%
	計	89	100%



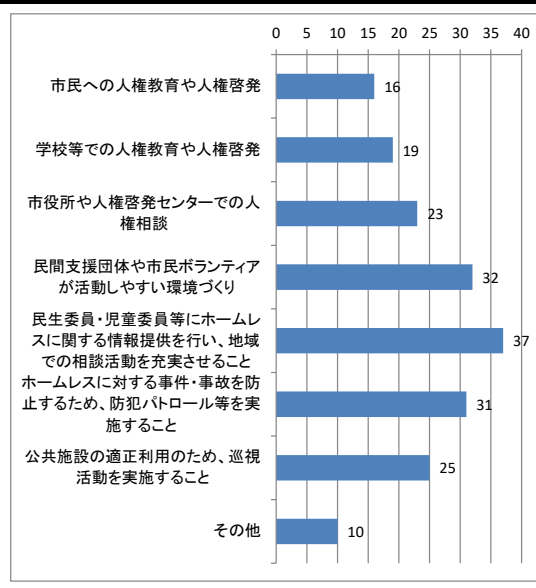
問9 ホームレスを支援するボランティア活動に参加したいと思いますか？

	選択肢	(件数)	(%)
1	過去に参加したことがある	4	4.5%
2	ぜひ参加したい	1	1.1%
3	機会があれば参加したい	30	33.7%
4	あまり参加したくない	36	40.4%
5	参加したくない	18	20.2%
	計	89	100%



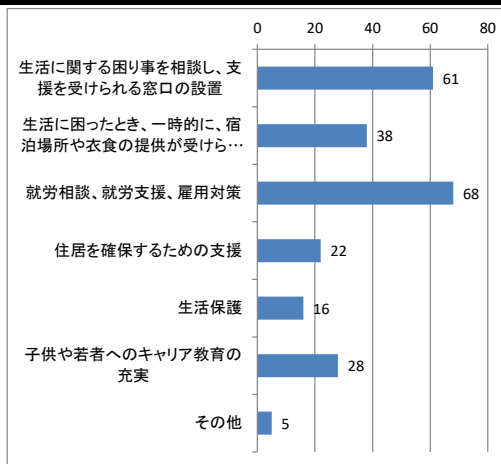
問10 ホームレスに関する問題を解決するために、どのようなことが重要だと思いますか？（複数回答）

	選択肢	(件数)	(%)
1	市民への人権教育や人権啓発	16	8.3%
2	学校等での人権教育や人権啓発	19	9.8%
3	市役所や人権啓発センターでの人権相談	23	11.9%
4	民間支援団体や市民ボランティアが活動しやすい環境づくり	32	16.6%
5	民生委員・児童委員等にホームレスに関する情報提供を行い、地域での相談活動を充実させること	37	19.2%
6	ホームレスに対する事件・事故を防止するため、防犯パトロール等を実施すること	31	16.1%
7	公共施設の適正利用のため、巡視活動を実施すること	25	13.0%
8	その他	10	5.2%
	計	193	100%



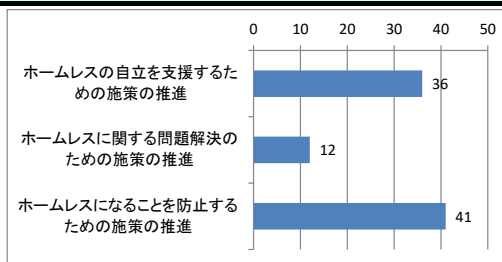
問11 ホームレスになることを防止するために、どのようなことが重要だと思いますか？（複数回答）

	選択肢	(件数)	(%)
1	生活に関する困り事を相談し、支援を受けられる窓口の設置	61	25.6%
2	生活に困ったとき、一時的に、宿泊場所や衣食の提供が受けられること	38	16.0%
3	就労相談、就労支援、雇用対策	68	28.6%
4	住居を確保するための支援	22	9.2%
5	生活保護	16	6.7%
6	子供や若者へのキャリア教育の充実	28	11.8%
7	その他	5	2.1%
	計	238	100%



問12 姫路市が行うホームレス自立支援のための施策で、最も重要なものはどれだと思いますか？

	選択肢	(件数)	(%)
1	ホームレスの自立を支援するための施策の推進	36	40.4%
2	ホームレスに関する問題解決のための施策の推進	12	13.5%
3	ホームレスになることを防止するための施策の推進	41	46.1%
	計	89	100%



問13 最後に、ホームレスへの支援のあり方についてご意見がありましたら、自由にご記入ください。

各選択肢の自由記述欄の回答

問6 ホームレスの人権が守られていないと思うのは、どのようなことですか？

実態について把握しておらず回答できない

何故ホームレスになったのか、今後どうしたいのか、など個別に対応が必要であり、そのうえでの人権だと思うので、まずは粘り強い対話が必要。

相談・申請がないと支援ができないしくみ。

1～4は人権と関係あるのでしょうか。基本的には義務を行ったうえでの権利と考えます。

ホームレスの存在が理解できない。

住居の提供や様々な支援対策がどの程度実施されているか知らないし、1～6については実際のホームレスの状況も判らない。ただ、老人ホームへの入居では周りの理解が必要でしょうし、就職先では本人の労働意欲の有無が問題になるでしょう。ホームレスの期間やなるに至る状況などで心が萎えてしまった方が多いように思います。心配りをしても簡単には本人が応じてくれないことで担当者が苦勞していると思われる。

問7 現在ホームレスとして生活している人へ、どのような支援が重要だと思いますか？

自立や利用可能な支援の情報への十分なアクセス。

何故ホームレスになったのか、今後どうしたいのか、など個別に対応が必要であり、そのうえでの支援だと思うので、まずは粘り強い対話が必要。

ホームレスに必要な支援が分からない。経済的な問題であれば、生活保護や就職支援といった制度があるのだから活用すればいいと思うし、住宅の問題であるなら公営住宅を活用すればいいと思う。それ以外の事情について、他者が支援できることがあるのか分からない。

提供する側は1～10みんな準備する必要があるでしょう。それは難しいでしょうね。11番目として普通の人と「同じ生活をする練習」(＝生活指導)や立ち直りのための「心理的治療」があればよいかもしれません。

現状で良いと思っている人が多いのではないかな。もっと安全で良い環境があると継続的に働きかける必要がある。

問10 ホームレスに関する問題を解決するために、どのようなことが重要だと思いますか？

巡回や炊き出しなどの支援の際に、ホームレスの方々に多角的な聞き取りと、公共団体への関わりを促せるような働きかけ。

ホームレスになった理由を調査し自立できるよう、また、再度ホームレスにならないように指導、支援。それらを各自治体と情報共有し改善に向けて協議出来れば早期解決、効率化が図れるのでは。

ホームレスに対する偏見をなくすこと。

市民アピール？のようなうわべだけで効果に疑問のある施策を薄く広く行う必要はない。新しい施策を考えて実行するだけでなく効果を確認し、期待した成果が出ないものは廃止すべき。浮いた予算や労力で別の仮説検証サイクルをまわせる。

当事者への啓発機会。

相談窓口または支援団体の生活相談による、個別の対応。

子供のうちから人生設計を考える機会を設けること、まじめに働いたものが働けなくなったときに生活に困らない程度の福祉制度。

1から3はホームレスの存在に「慣れてましよう」のように見える。普通人と同じような見かけと挙動があればホームレスでも受け入れ易いし、対策もし易い。問7へ回答したように、普通人と「同じ生活をする練習」（＝生活指導）や立ち直りのための「心理的治療」があればよいかもしれません。

本人の努力につきる。何をしても本人にやる気がないと無駄だ。

問11 ホームレスになることを防止するために、どのようなことが重要だと思いますか？

学校等で、ホームレスになる前にできること、なった場合に立ち直す選択肢をインプットしておく。

ケースワーカーの対応、他から流れてくるホームレスの対応は？

ホームレスになりそうなときに(なる前に)手を差し伸べる必要がある。立ち直りの為の方策の相談と気力応援をするアドバイザーが必要。

国民の義務や権利について、高齢者や教育不足の人に教える。

生活保護の申請はスムーズに。誰でもできるはず。断っていないか。

問13 最後に、ホームレスへの支援のあり方についてご意見がありましたら、自由にご記入ください。

中心地から離れているので、よく分からない。しかしながら、梅田の高架下でもいまだホームレスを見かけるので根深いものが有ると思う。

どうしてもにおいが気になるので、定期的に入浴できる支援や古着の支援などがあれば、お互いに不快にならないと思います。

東京近郊の都市に住んでいたころ駅前にホームレスの姿をいつも見えてきて、治安上の不安を感じる一方でこれが社会の現実であり、決して他人事と思ってはいけなと子供に教育する機会にもなりました。姫路市ではホームレスの姿を見かけたことはありません。施策の成果なら素晴らしいことですが、経済情勢による一時的な数字の改善であつたり、単に市の調査にかからない場所で転々と生活されているだけでないことを願います。ホームレス状態には誰でもなりうることを、生活困窮時に受けられる行政サービスや民間支援があることを教育、広報していくべきだと思います。

青山でよくみかけるおじいさんのホームレスがいる。声をかけようかと思うが、よく足に包帯していたり、ゴミ袋を持ってうろうろしている。駅前でもみかけたことがある。実際にホームレスを見かける機会があるので、こういう計画があることで安心したし、自分にもできることがあれば参加したいと思う。

姫路市に何人の人がホームレスになられているのか、わかりませんが、夫がアメリカに赴任中に見ました、ホームレスの方はダウンタウンにテントを張って、住んでいらっしゃいました。又、炊き出しなども、見た事がありますが、ビーチでは、私達も食べる事が出来ました。姫路市には四年目なので、支援などわかりませんので、詳しく知りたいと思いました。

自力更生のための就労支援が不可欠だと思うが、それを期間を限って実施することで本当の解決になるのかどうか、非常に難しいと思う。

支援活動の継続。

ホームレスに限らず、生活保護を受ける方の中には、社会的な支援に甘えて、自立しようとしていない方もいる。生活保護を受けずに頑張っている方よりも、生活保護を受けているの方が楽に良い生活を送っている場合もある。支援・保護される方は共同住宅や施設等で多少の制約を受けたり、不便を感じる程度の支援で、あるべきだ。そこから抜け出そうと自立を促すようなものであるべきだ。

ホームレスになる原因が様々であると考えられますので、支援のモデルの構築も大変難しいと思います。
大阪市西成区を時折訪れています。こういった問題に関して、より深いノウハウを持っていらっしゃる地域ですので、参考とされても良いかと思います。

テレビでホームレスになるきっかけについて特集されていたことによると、離職や離婚などで経済的に困窮してなった方、発達障害など精神的な問題で一般的な日常生活がしづらく、集団生活を強制されるような支援の仕方だと馴染まず自分で出ていってしまう方などがいるとやっていました。大変だと思いますが、1人1人の原因にあった対処方法が必要だなと感じました。

対象者の技能、能力、体力に見合った就労先の確保と就労先の理解が得られるような仕組み作り。就労先の税制面での優遇処置等のインセンティブも。

難しい問題ですね。時々見かけるホームレスの方は もう7,8年前から、大手前公園のトイレや、城見台、商店街に寝泊まりされてるようですが、たまたま、スーパーの帰りに、ペットボトル入りのお茶を手渡すと、ありがたうの返事がありました。人を拒否してるのではないのかとも 思えるのですが、誰も声掛けすることはしません。炊き出しをしてくださってる場所もあるようですが月に 二回ぐらいだと聞き及んでます。市の職員や警察官が 連携を取りながら 毎日のように 見回ってもらえたら かたくなな心も ほどけるのではないかと思いますのです。

ホームレスになる経緯は、いくつかあると思いますが、その中で一度でもなると、その状況を好み離れられなくなるということもあることを聞いたことがあります。そういうことからなってしまった後は、メンタル面の対策が大事ではないでしょうか。

住居がないから仕事をする事が出来ない、病院に行けない…となると悪循環を起こしています。条件を緩和し、仕事を見つけて働いてみて3ヶ月以内に住居が見つからなければ退職してもらおう等、条件を付けたら家も探しやすく、ホームレスの数も自然と減ってくるのではないかと思います。ホームレスだから悪いのではなく、状況がホームレスにさせてしまっているのでは好循環を生み出す政策を考えたいし、考えていただきたいなと思いました。

ずっと以前に入居施設のある場所を教えてもらったことがありましたが、とても不便なところでびっくりしました。その時は入居する人があまりいないと聞きました。空き家が多い今ならもっと考えられることがあるかもしれません。

ホームレスになった原因は様々だと思いますが、生活保護等の支援だけでなく、まずは自立に向けた施策であることが重要ではないかと思います。

先程送信した内容がエラーと表示されたので重複してしまいましたらすみません。青山の日赤病院前周辺から名古屋山霊園前の2号線周辺で白髪の老人で明らかにホームレスだと思われる方を見かけた事が何度かあります。昨年冬から春先に掛けての記憶だったと思いますが、うろ覚えです。紺色のジャージに薄手のベストを着て、裸足に近いサンダル姿でした。足が悪いのか10メートル前後進んでは休むといった動作を繰り返して行なって歩行されていた様子です。徒歩での移動範囲が広いと感じますが、恐らくあのエリアが生活の基盤なのではと思われます。古い情報ですがお役に立てるよう祈ります。
ホームレスになった人、なりそうな人は心理的な要因もあると思われる。また、ホームレスになったことで心理的な問題を抱える人もいると思われる。心理的カウンセリング(心のケア)は重要な施策であると思う。
やはり簡易な就労支援により、対価を与え、労働の喜び、生きる喜びを感じてもらう。安易な施しは、失礼だし、プライドを傷つける。
生活保護という仕組みはあるので、大きな姫路市で20数名程度であれば、生活保護の仕組みでまずは生活を整えて、就労の機会を見つけてもらうことがいいのではないのでしょうか。
今まであまり深く考えたことは無かったが、姫路駅周辺の環境も大分良くなり、改めて思い起こしてみるとホームレスを見る機会は減ったように思う。姫路市の自立支援計画を拝見し、ホームレス減少のために様々な施策を進められたのだと初めて知った。結果も出ており、素晴らしい取り組みだと思う。ホームレスになる経緯は様々であろうが、就労が十分に可能なホームレスの方にはまず就労支援を進めてほしいというのが、一般的な市民感情であると思う。
今までにホームレスだと思われる方を姫路駅周辺又は姫路駅から南バイパス付近、市役所付近で見かけたことがありますが最近見かけなくなりその方々はどうしてるのかなあと思っていた程度なので実態分からず回答できません。
20年ほど前、河原で、拾って来た物、近所の人たちの差し入れで生活している男性に会いました。その後どうされているのかなあと時々思っていました。今は 跡形もなくなっています。誤解、偏見、暴力などがないよう、ホームレスになる背景、原因を市民に啓発してほしいです。
極力自立出来る様に最低限の支援で充分、それよりも子育て支援を充実させて欲しい。
ホームレスになった過程の分析が重要。

ホームレスへの支援については、正直何をどうすればいいのか私には分かりません。しかし、三左衛門掘でよく見かけていたそれらしき人たちを、ここ数年見かけなくなったということを鑑みると、これまでの取り組みが成果を上げているのだらうと思います。

このアンケートを見て、自分や子供が将来大丈夫かなと不安を覚えました。ホームレスに転落しないようなサポートの充実を望みます。ホームレス支援のボランティア活動には頭が下がります。自分は感情移入し易い性質なので、そのような活動をすれば、ホームレスの心理状態が移って自分も気分が萎えるに違いない。日常生活でいろいろとストレスを覚えることが少なくありません。うっかりした失言で親しい人の感情を傷つけて悩むこと、もし車の運転で事故を起せば、後悔に悩まされたり大負債を背負って何もかも失う可能性もあります。かといって、車を運転できないと生活に差し支えるし楽しみも激減します。子供たちの将来も不安なことが沢山あります。介護される場合もまた悩みが多いですね。そんなことを考えると、この世を見切りたときに安楽死を選べる制度が欲しいです。

ネットカフェなどで寝泊まりしたり、派遣の仕事を転々としたりするような人は予備軍のように思われます。若者から中高年の人達が目につくような所での支援窓口の案内や、どうにかしたいけれど、どうすればいいのかわからない人達を救えるような地域の在り方など啓蒙してほしいです。

就労への支援が必要。

一度ホームレスになると再就職や賃貸など偏見があり、生活の立て直しが困難と思うので、ホームレスになる前に防止することが大切。

医師や教員、公務員の資格や身分に更新制度を導入し、厳格なチェックを行う。

ホームレスだけでなく社会的な弱者に対する公の支援など総合的な課題だ。

ホームレスになるには相当の決意があるはずだが、周囲の支援を充実させてはたして効果があるのか。母子の貧困も話題になっているが、自分の意思や努力不足でホームレスになった人にこれだけの支援が必要とは思わない。

支援により衣食住が満たされると今後の人生に希望がわいてくるかもしれない。計画だおれとならないよう警察や民間、地域住民と市が連携してホームレス0をめざしてほしい。

市が仕事を与えること。仕事をすれば全てが解決する。
就労支援の前後から継続支援のあり方の掘り下げと分析を市が行い、公開すること。
入浴など衛生面について病気予防のため拡大してほしい、ボランティア活動の安全面について万全を期して欲しい。
以前見たホームレスは身体は元気そうだった。就労機会を提供すれば、解決しやすいのではないかな。
充分と思う。
最近寒くなってきて、ホームレスが減ったように感じる。
ホームレスになった原因究明、分析。本人とのコミュニケーションを徹底的に行う。本人が望む環境整備。意識改革のサポート。それらを繰り返す行う。
年齢や育ってきた環境に応じたキャリア教育が是非必要だ。
以前、駅や城付近でよくホームレスを見たが、最近は見かけなくなった。高齢者が多くを占めているようで、居住場所があっても生きがいが少ないのではないかな。高齢者同士が交流できる施設が必要かなと思う。
古い公営住宅の開いている部屋が多いので、それをホームレスの人に支援出来たら良いのではないかな。